



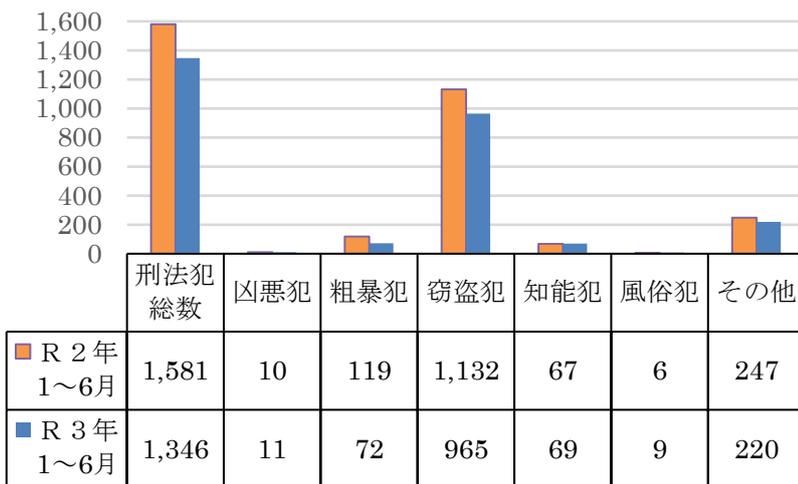
山梨県内の犯罪情勢(令和3年上半期)

県内の令和3年上半期(1月~6月)における刑法犯認知件数(刑法犯罪の内、被害届が提出されたもの)は、**1,346件**で、前年同期より**235件減少**しました。罪種別に見てみると粗暴犯と窃盗犯が減少し、凶悪犯、知能犯、風俗犯は増加しています。

しかしながら、被害全体の約7割以上が盗難被害であることから、盗難対策を行うことが、身近な犯罪を防ぐことにつながります。

住宅を狙った空き巣や忍び込みなどを防ぐためには「戸締まり」が基本ですが、プラスワンの防犯対策として、窓ガラス対策(防犯ガラスへの変更、防犯フィルムの貼付、補助鍵の取り付け)や環境対策(防犯灯、防犯カメラ等の設置)を行えばより効果的です。自転車やオートバイなどの二輪車盗被害でも施錠が基本です。買い物などの短時間でもしっかりと施錠し、ツーロック(二重ロック)をしましょう。

刑法犯認知件数(令和2年・3年上半期)



- ※凶悪犯~殺人、強盗、放火など
- ※粗暴犯~暴行、傷害、脅迫、恐喝など
- ※知能犯~詐欺、横領、汚職など
- ※風俗犯~賭博、強制わいせつなど
- ※その他~公務執行妨害、器物損壊など

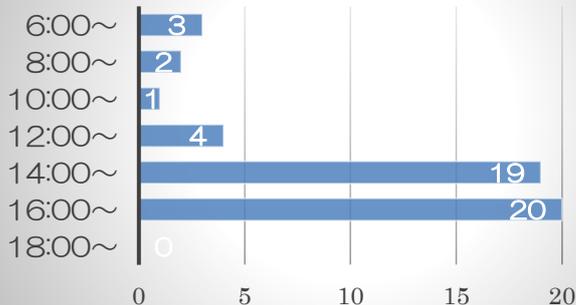
※統計データ：山梨県警察本部より(令和3年6月末の暫定値)

通学路を再チェックしましょう

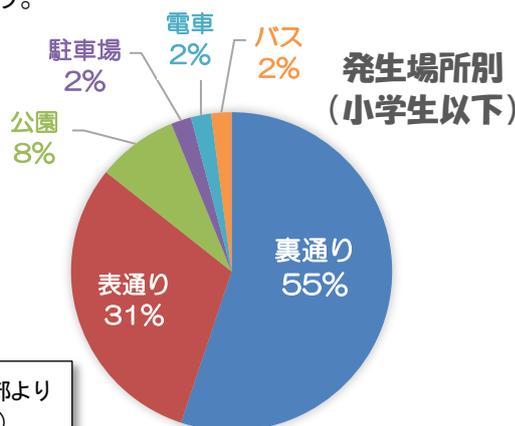
県内の令和3年上半期(1月~6月)における「声かけ行為等事案」の発生は161件(前年同期+20件)でした。小学生以下の児童が対象となった事案は49件(前年同期-2件)で、下校時間帯の午後2時から午後6時までの間に裏通りでの発生が多く見られます。使い慣れた通学路とはいえ、夏休み中、しばらく通らなかった間に雑草が生い茂り見通しが悪くなっている場所や工事などで通れない道路があるかもしれません。新学期が始まる前にお子さんと一緒にもう一度、通学路を点検しましょう。そして、子ども110番の家やお店、コンビニエンスストアなど、有事の際に逃げ込める場所も併せて確認しておきましょう。



発生時間帯別(小学生以下)



※統計データ：山梨県警察本部より(令和3年6月末の暫定値)



発生場所別(小学生以下)

県内で活躍中の防犯団体の方々を紹介します。

富士吉田警察署管内少年補導員連絡協議会



駅や電車でのマナーを呼び掛ける
マナーアップ作戦を実施

令和2年度に安全・安心なまちづくり表彰（山梨県知事表彰）を受賞された『富士吉田警察署管内少年補導員連絡協議会』をご紹介します。（「少年補導員」とは、警察本部長から委嘱され、少年の非行防止と健全育成のための活動をする少年警察ボランティアの方です）

同協議会は昭和52年に設立、構成員は62名で、富士吉田警察署管内（富士吉田市、富士河口湖町、忍野村、鳴沢村、山中湖村）で活動されています。長年にわたり、富士吉田警察署と連携して、吉田の火祭りなどの大規模祭典におけるパトロール及び少年補導活動、少年の立ち直り支援活動など、将来を担う少年を

地域全体で見守り育てるための活動を推進しています。

また、継続的に実施してきた農業体験を通じた少年の立ち直り支援活動により多くの少年達を温かい大人の目で見守り、育てています。

昨年からは新型コロナウイルス感染症の影響による大規模祭典の開催中止に伴い、パトロールや少年補導活動などができない状況が続きましたが、今年7月に少年の立ち直り支援活動として継続補導により支援している少年と共に、ジャガイモの収穫体験を実施しました。（収穫したジャガイモは同少年や児童養護施設へ提供しています）同協議会会長の宮下さんは「コロナ禍で集まること自体が難しくなっているが、地域の子どもは地域で育てるという気持ちでこれからも活動していく。未来を担う子ども達が心も体も健やかに育つ地域でありたいと願っている。」と熱い思いを話してくれました。



農業体験（ジャガイモ収穫体験）による
少年の立ち直り支援活動を実施

少年の非行や被害を防ぐために

夏休みになると開放感から、子ども達の気もゆるみがちになり

オートバイ、自転車などの乗物盗や万引きなどの非行

喫煙、夜遊び、暴走行為、飲酒等の不良行為

が増加し、インターネット利用に起因した犯罪被害を受けやすい時期でもあります。

○ 子どものインターネット利用に関心を

インターネットは便利な反面、有害情報や犯罪情報も多く、注意が必要です。

家庭で話し合っ規則を作り、フィルタリングを使って子どもの安全を守りましょう。

○ 子どもの外出、帰宅時間を把握

子どもが外出する時は「行き先、誰と、何を、帰宅時間」を確認しましょう。

○ 何でも話せる雰囲気づくりを

子どもと接する時間が多くなる夏休みこそ、子どもの話をよく聞き、年齢に応じた子どもの心を理解するように努めましょう。

少年が非行に走る前には、生活態度や行動に必ず何らかの兆しが現れるものです。家庭では、こうした状況をいち早く察知し、節度ある日常生活について話し合うことが大切です。

お子様のことでお困りの方は、下記相談機関・窓口をご利用ください。



「自分は大丈夫。」をやめよう。

自分は大丈夫。
と思っていました。



困ったときは、一人で悩まずに「消費者ホットライン」
最寄りの消費生活センターや消費生活相談窓口につながり、専門の相談員がトラブル解決を支援します。

188 (い) (や) (や) にご相談ください。

新しい生活における詐欺・トラブル防止
【最新事例がわかる特設サイト】
消費者庁 コロナ 検索



県ホームページ
QRコード →
電話詐欺の情報を
随時更新中！



コロナ禍における詐欺・トラブル に注意！

県内の令和3年上半期（1月～6月）における電話詐欺の被害は33件（前年同期+2件）で、被害総額は約9,199万円（前年同期+約1,151万円）でした。被害件数、被害額ともに昨年を上回るペースで被害が発生しています。



また、全国的には、コロナ禍ならではの不審な勧誘や悪質商法、ショッピングに関するトラブルが多発しています。

「自分は大丈夫」と油断せず、新聞やニュースなどから最新の事例を知って、十分注意しましょう。

また、新型コロナウイルスのワクチン接種に便乗して、現金を要求する電話や不審なメールがあったという相談が、全国の消費生活センターに寄せられています。市町村などの自治体が、ワクチン接種のために金銭や個人情報を電話で求めることはありません。不審な電話やメールで困ったときは、一人で悩まず、

- 最寄りの警察署（緊急時は110番）
- 山梨県県民生活センター ☎055-235-8455
- 消費者ホットライン ☎188（い）（や）

などにご相談ください。

再犯を防止して安全・安心な社会へ

県内の刑法犯の認知件数は、平成14年をピークに減少傾向ですが、検挙された人の約半数が再犯者という状況が近年続いており、再犯防止が、犯罪のない明るい社会を構築する上で非常に重要な課題となっています。罪を犯してしまった人達を社会から排除し、孤立させるのではなく、責任ある社会の一員として再び受け入れることが自然にできる環境を構築することが、安全で安心して暮らせる社会を築くために不可欠です。

罪を犯した人たちの立ち直りを助け、再び犯罪や非行に陥ることを防ぐ「更生保護」

■保護司～犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティア（法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員）。

■更生保護施設～身寄りのない刑務所出所者などを一定期間保護し、生活指導や職業補導などを行い、自立を支援する施設。

■協力雇用主～定職に就くことが難しい刑務所出所者などを、事情を理解した上で雇用し、改善更生に協力する民間事業主。

■更生保護女性会～女性の立場から、犯罪や非行の未然防止の啓発活動や改善更生に協力するボランティア団体。

■BBS～(Big Brothers and Sisters Movement) 非行など様々な問題を抱える少年たちを支援する青年ボランティア団体。

の活動には、保護司や更生保護施設をはじめ協力雇用主、更生保護女性会、BBSなどたくさんの人や団体関わっています。

県民の皆様には、立ち直ろうとする人たちを見守る、更生保護活動にご理解とご協力をお願いいたします。



法務省公式ツイッターアカウントの紹介

法務省では「#再犯防止サポーター」「#立ち直り」をキーワードにツイッターで情報発信を行っています。[QRコード] つぶやいて、再犯防止の輪を広げましょう。



犯罪に
戻らない 戻さない
立ち直りを支える地域の力

No one will be left behind



県からのお知らせ

10月11日は「安全・安心なまちづくりの日」です

全国地域安全運動

10月11日から10月20日まで

犯罪に強い社会の実現のため、安全・安心なまちづくりの推進を普及させるとともに、県民一人ひとりの意識と理解を深めることを目的として「安全・安心なまちづくりの日」が定められています。

また、10月11日から20日までの10日間を「全国地域安全運動」期間と定め、全国で安全安心な地域社会を築くため、取組を強化しています。

山梨県でも安全・安心なまちづくりの普及啓発を行うとともに、安全・安心なまちづくりの推進に功績や功労のあった団体等の表彰を行います。

みんなで築こう



安全・安心やまなじけん

山梨県警察 ふじ君安心メール・ツイッターの紹介

山梨県警察では、子供の安全情報やお住まいの地域の犯罪発生情報などを、電子メールで配信する

「ふじ君安心メール」サービス

を行っています。配信する情報は、各市町村ごとの・子供や女性に対する声掛けや、不審者等の情報・ひったくりや空き巣、電話詐欺などの犯罪発生情報などです。携帯電話やパソコンのメールアドレスをお持ちの方なら誰でも利用できます。



こちらのQRコードを読み取り、空メールを送信することで登録できます。



山梨県警察 公式ツイッター

山梨県警察の活動に関する情報のほか、犯罪や事故の発生など、安全・安心に関する情報なども発信しています。(発信専用です)

ぜひフォローしていただき、タイムリーな情報を役立てて下さい。

こちらのQRコードから読み込めます。



防犯講座受付中

山梨県では

- ・学校・幼稚園・保育所等での子ども防犯教室
- ・自治会の集会や自主防犯ボランティアの集会などの各種会合での防犯講話（電話詐欺や盗難対策）

など、職員を派遣して出張防犯講座を行っています。

ご利用希望の方は、日程調整の上、ご対応いたしますので、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。

○お問い合わせ先

山梨県 県民生活部 県民安全協働課

消費安全担当 ☎055-223-1352



【発行元】山梨県 県民生活部 県民安全協働課

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6番1号 TEL 055-223-1352